

部局名	生涯学習部	所属名	文化・スポーツ課	所属長名	花島 好美	電 話	481-0305
-----	-------	-----	----------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3540		事務事業名称	文化伝承館運営事業					短縮コード	経常	3540	臨時	3488
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	07	文化伝承館費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市文化伝承館の設置及び管理に関する条例、八千代市文化伝承館の設置及び管理に関する条例施行規則、八千代市文化伝承館に勤務する職員の勤務時間に関する規則						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
平成8年5月、市内に残る無形の民俗文化や日本の伝統文化の保存・継承・育成・そして振興と発展を目的として開館し活動を始めた。 事業活動促進のため、伝統文化への場の提供することと普及啓発のため、主催講座や伝統文化資料の展示を行い、伝統文化の技を継承するための指導も行う。 また、調査保存継承のために、市内の民俗調査や記録保存のための事業も実施する。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして					
開始当初に比べ当館も広く周知され、主催講座等の参加も増加した。しかし、開館13年が経過し、参加者や利用者の固定化・定着化が見られ、今後新たな事業や、手法を講ずる必要がある。						大項目（節）	05	文化					
						中 項 目	02	文化財					
						小項目（施策）	01	文化財の保護と活用					
						細 項 目	03	伝統文化の継承					
					実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市民									
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： 主催講座は伝統文化に親しむ会（草田の花見茶会、十五夜の月見、雛節供）、八千代の民俗文化再発見（石造物への願い）、子供茶道入門、折紙くらぶ、伝承文化を習おう（昔遊び編、紙芝居編）などで、広報事業として、文化伝承館だより「継」11号発行、伝承文化継続活動の指導者の派遣、及び伝統文化活動の場の提供									
	※平成21年度に計画していること： 主催講座は伝統文化に親しむ会（草田の花見茶会、十五夜の月見、雛節供）、八千代の民俗文化再発見（祭りの原理）、子供茶道入門、折紙くらぶ、伝承文化を習おう（昔遊び編、紙芝居編）、紙芝居と昔話の会などで、広報事業として、文化伝承館だより「継」12号発行、伝承文化継続活動の指導者の派遣、及び伝統文化活動の場の提供									
意図 （何を狙っているのか）	主催事業への参加者の増加により、八千代に残る伝承文化に興味をもった人が増えること・八千代に残る昔話を紙芝居にして伝えるために貸出を行い、市民に八千代の歴史と文化を伝える。									
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外									
区 分					単位	1 9 年度	2 0 年度		2 1 年度	
						実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標 1	市民	人	188, 624	191, 000	191, 469	194, 000			
	指標 2									
	指標 3									
活動指標	指標 1	開館日数	日	292	292	292	292			
	指標 2	利用人数	人	18, 672	18, 900	18, 383	18, 900			
	指標 3	主催講座数	講座	128	130	136	148			
成果指標	指標 1	主催講座参加者	人	1, 925	2, 200	2, 577	2, 700			
	指標 2	昔話の紙芝居貸出回数	回	17	20	17	22			
	指標 3									
上位成果指標	指標 1									
	指標 2									
	指標 3									

コード	3540	事務事業名称	文化伝承館運営事業				所属名	文化・スポーツ課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			文化伝承館ボランティア団体「ゆいの会」や市民の伝統文化活動団体との共催事業を促進していくこと。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止(事業完了含む)								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			市民であり利用者である人々の、市内の伝統文化活動団体の事業について、技術的手法の手助けをすることで、より一層に活動促進に役立ち、市全体の伝統文化の向上させることができる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☒	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
初めて主催講座に参加された方は、このような伝統文化に親しめることに、感激されこれからも参加したいとのこと、市内の伝承文化のことが、よくわかったし、いろいろあることに驚いていた。 学校や各種団体からの昔遊びや遊具づくりの指導に文化伝承館ゆいの会の会員が携わり、異世代交流にも役立っている。									

所属長コメント	市民の方々をはじめ地域の団体や学校からの伝承文化の普及発展のために、文化伝承館ゆいの会や伝統文化活動団体との協力・連携を深め、一層の充実を図って行きたい。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，引き続き課題解決につとめ，可能なことは推進すべき。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止(事業完了含む)									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									